

ルネサス懇

2030ASPIRATIONが達成できない状況になるでしょうか

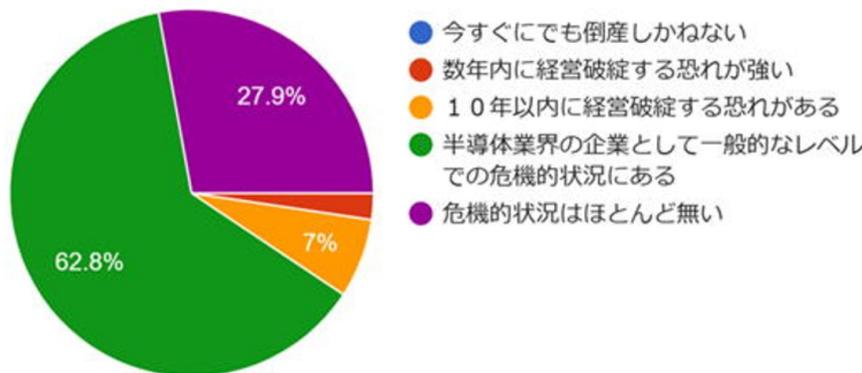
これは多くの社員が不安に思っていることだと思います。いまや2030ASPIRATIONが金科玉条と化して、これを達成するためなら、人員削減だろうと定期昇給延期だろうと、それ以外のことは何でも許されると言わなければなりません。

会社の言う事を聞いていると、この中期目標が達成できないと、競争から脱落してすべてを失ってしまうかの様に聞こえます。全員が路頭に迷うくらいなら、一部の人が路頭に迷う方がまだましだろうとも言いたいのかと思います。

しかし実際にどうなるのかを冷静に予想すれば、まず倒産してしまう可能性は相当に低いと言えるのではないのでしょうか。経営には良い時もあれば悪い時もありますが、よほど外的環境が悪化するか、または経営者が悪手を打

【設問8】現在の会社はどのくらい危機的な状況にあると思いますか

43件の回答

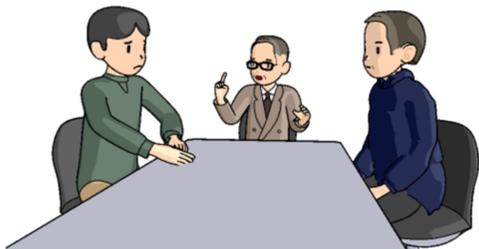


- 今すぐにも倒産しかねない
- 数年内に経営破綻する恐れが強い
- 10年以内に経営破綻する恐れがある
- 半導体業界の企業として一般的なレベルでの危機的状況にある
- 危機的状況はほとんど無い

電機・情報ユニオン

困ったら、一人で入れる
電機・情報ユニオンに相談を

連絡先
TEL 03-6421-5323
FAX 03-6421-5324
メール: <denkiunion@gmail.com>



たない限り、順調に利益を上げている企業が倒産にまで至ることは滅多にないとの認識です。しいて言えば、アルティウムの買収など、M&Aの成否の方が圧倒的なリスク要因でしょう。定期昇給をやったかやらないか程度のことと、必然だった倒産から救われるなど信じる人は誰もいないと思います。むしろ莫大な利益を上げてさえも、社員の賃金を上げない会社として、優秀な学生等から忌避されるデメリットを考えた方が良いのではないのでしょうか。

また、投資家にとって投資するポートフォリオは多様だという事実もあります。投資先が半導体企業である必要はなく、また株である必要もなく、国債その他の有価証券、不動産、資源、為替など各種あり、半導体企業としてトップでなくとも、それらとの比較で十分な魅力があれば良いのです。

それでも不幸にして倒産してしまっただとしても、事業そのものは何らかの形で継承、継続するのが普通です。

とにかく、この中期目標が達成できようが、逆にできなくなる見込みが強くなろうが、どこかで次の中期計画が出て来ることは確かです。大事なのは、そのときに、我々がどのような存在として扱われることが前提になっているのかです。リストラされ放題の社員であることを前提とした計画が作られないようにしないといけません。

<発行者>
ルネサス関連
労働者懇談会
(ルネサス懇)
意見と情報は、
〒142-0043
東京都品川区二葉
2-20-8染野ビル
(電機労働者
懇談会気付)
(03) 6421-5323

電機・情報ユニオンへの相談は、

